

教職員の勤務状況等調査結果【令和7年11月のまとめ】

令和8年1月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和7年11月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。



令和7年11月の状況について

■令和6年11月との比較では、時間外在校等時間45時間超、80時間超の方の割合が、小・中・高・特の全ての校種において減少しています。

特別支援学校においては、時間外在校等時間80時間を超える教職員が0%になりました。他の校種においても、確実に時間外在校等時間が減少した11月になりました。

新学期を迎え、年度末の忙しい時期になるかと思いますが、健康に留意し、自身の働き方を日々振り返りながら業務を進めていただければと思います。

		45H超	80H超
小学校	令和6年11月	18.7%	0.9%
	令和7年11月	13.6%	0.8%
		5.1pt減	0.1pt減
中学校 (義務教育 学校含む)	令和6年11月	41.2%	6.7%
	令和7年11月	34.3%	4.8%
		6.9pt減	1.9pt減
高等学校 (中等教育 学校含む)	令和6年11月	22.0%	3.8%
	令和7年11月	19.6%	3.4%
		2.4pt減	0.4pt減
特別支援 学校	令和6年11月	2.4%	0.1%
	令和7年11月	2.2%	0.0%
		0.2pt減	0.1pt減



「令和7年度 教職員の業務状況等調査」に御協力いただきありがとうございました。

■県立・市町村立学校の全校長先生と、抽出校として指定させていただいた学校の教職員の皆様を対象とした「令和7年度 教職員の業務状況等調査」では、お忙しいところ御協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の調査で各学校の校長先生からいただいた御回答のうち、各校における業務改善の工夫や特筆すべき取組について、自由記述欄に入力されたものを一部紹介いたします。(今月は小中学校の例)

Q 各学校における具体的な業務改善の取組のうち、特筆すべきものがあれば記述してください。

【小学校の例】

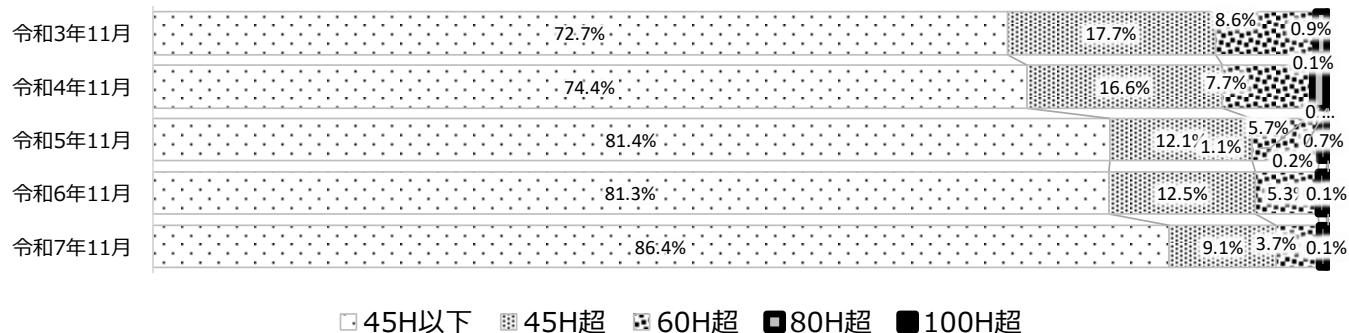
- PTA総会を紙面開催とし、表決については連絡メールを活用。集計も楽になった。
- 「夏休み中の水泳指導」「夏休み中のプール開放」「学校が関わる地域行事への児童引率」について、町教育委員会の理解のもと町職員等が担う業務となり、地域移行が実現された。
- 校時表の見直しで、毎日の清掃を週3日、朝活動を週2日にした。そのことにより、下校時間が20分早くなり、教員のゆとりにつながった。
- 家庭訪問を廃止し、1学期は全児童対象、2学期は希望者のみの教育相談に変えた。
- 臨海学校、修学旅行に関わる保護者説明会を参集せずオンデマンド配信に変更。
- コミュニティ・スクール地域学校協働活動が充実し、ボランティア登録によるデータバンク化が進み、地域学校協働活動推進員(コーディネーター)による連絡調整が有効に機能して、家庭科におけるミシンや調理ボランティア、図書館ボランティアなど、先生方の手を煩わせずに必要な時に派遣できるシステムが出来上がっている。
- 運動会を休休日ではなく授業日に設定することで、天候での延期に対する手続きが不要になり、また連続勤務がなくなり職員の負担感疲労感が軽減している。
- 近隣のスイミングスクール施設を活用した水泳学習を行うことで、学校における日常的なプール管理が不要になった。
- 近隣公共施設の活用(学習場所の充実、駐車場の活用)により場所の設定に時間や手間をかけずにすむようになった。

【中学校の例】

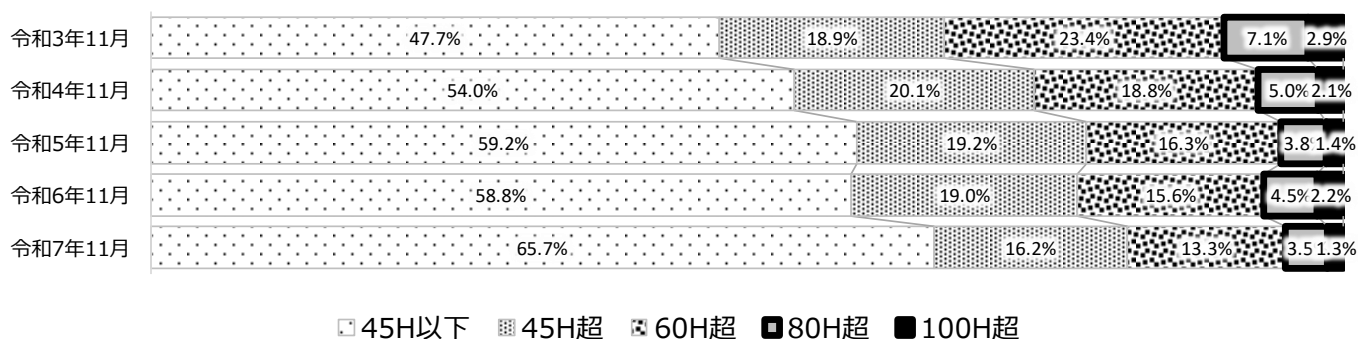
- 体育祭の実施時期を見直し、今年度から9月末から5月中旬に移行したところ、生徒や教員の体力的な負担の軽減や暑さ対策にもなり、多方面(保護者や地域の方々等)で賞賛いただいた。
- 自動採点システム導入による作業時間の大幅削減
- 校時表を変更した。火金を5校時とし部活動2時間、月木を6校時とし部活動1時間、水曜を7校時とし部活動なしとして、17時に生徒を下校させることとした。
- 教材費等の会計事務では、会計簿に関する会計マニュアルを作成し、銀行での払い戻しや業者等の支払いを役割分担したことで、これまでより負担軽減につながった。
- チラシや案内などの情報発信を業務アプリで極力発出することで、印刷などの手間が省けている。
- ほとんどの職員が、週に1日、「生徒と一緒に帰るデー」を自己申告し、残業無しで帰っている。
- 勤務時間外の電話対応は、一定時刻になったら手動で電話受信できなくなる仕組みを導入。
- 隣接した町施設ホールで各種保護者説明会を実施することで、会場準備が不要になった。
- 市の部活動ガイドラインの変更があり、2学期から平日の休養日が1日から2日となったため、生徒下校後にすぐ学年会の時間が持てるようになった。
- 春の家庭訪問を廃止し、教育相談として保護者が来校(1年全家庭、2、3年は希望者)

時間外在校等時間の状況【11月の経年変化】

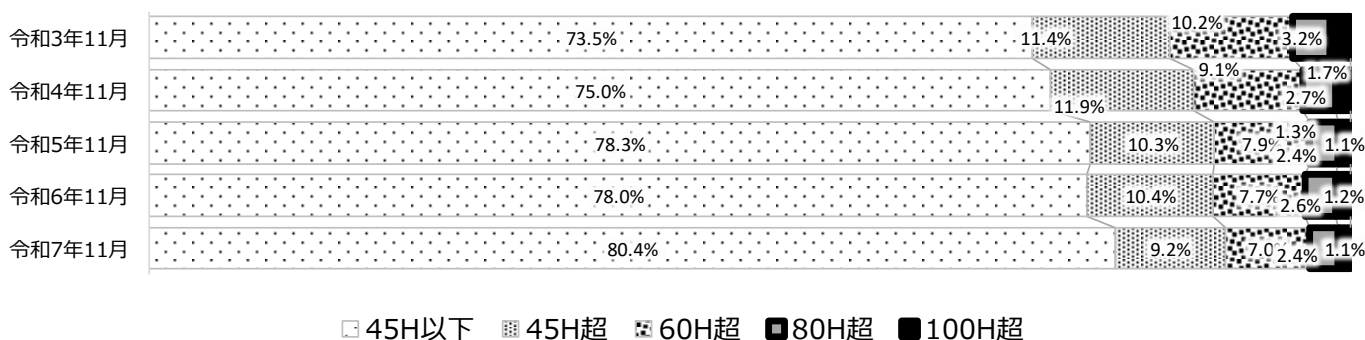
1 小学校の状況



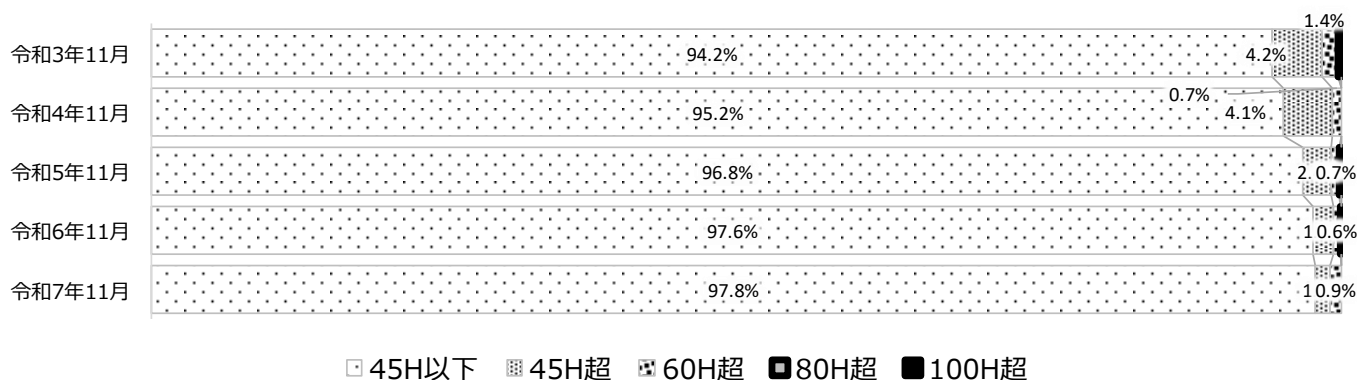
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校, 市立の高校を含む）



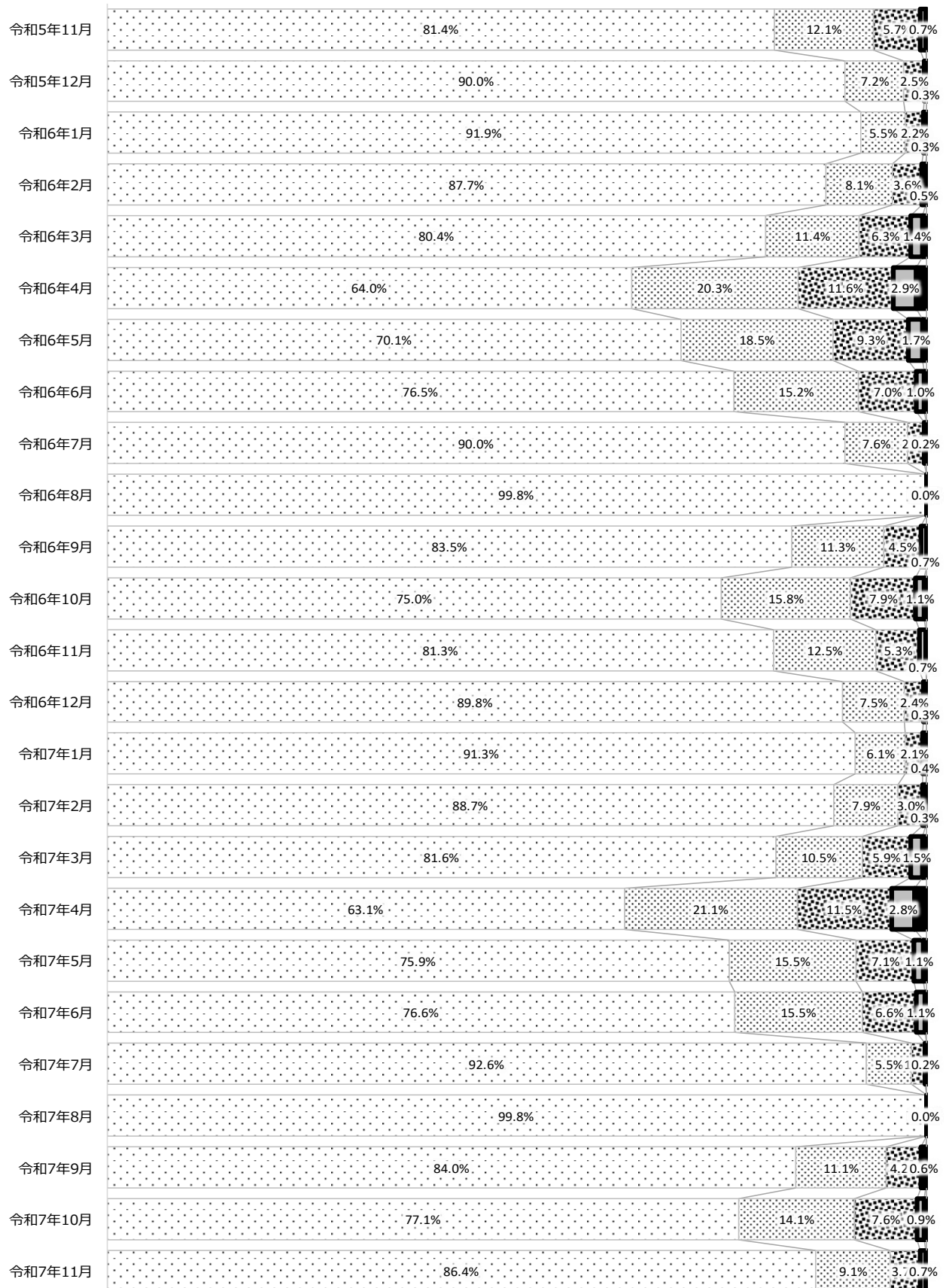
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和5年11月～】

〔市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査〕

1 小学校の状況

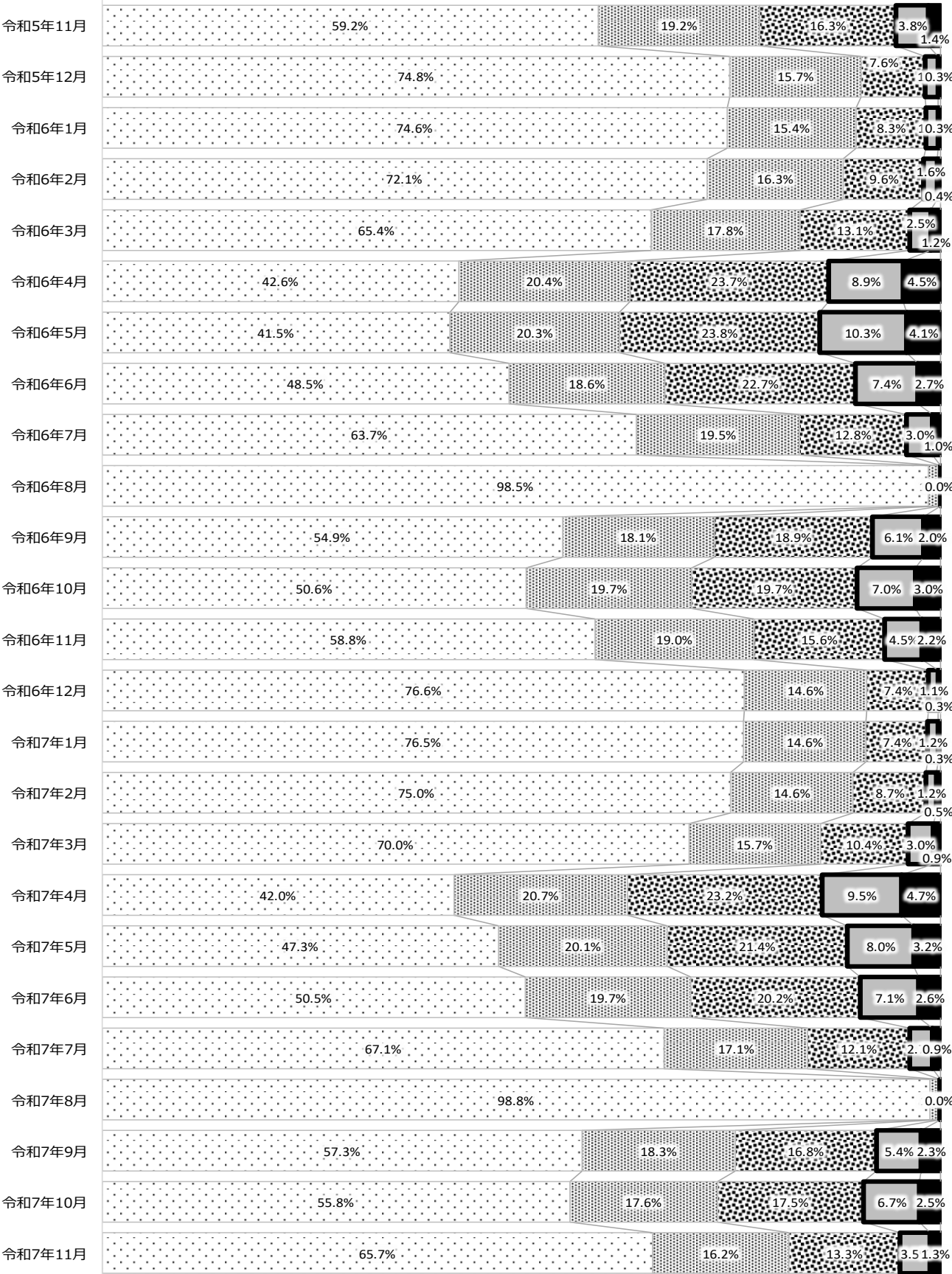


□45H以下 ▨45H超 ▩60H超 ■80H超 ■100H超

時間外在校等時間の状況【令和5年11月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）

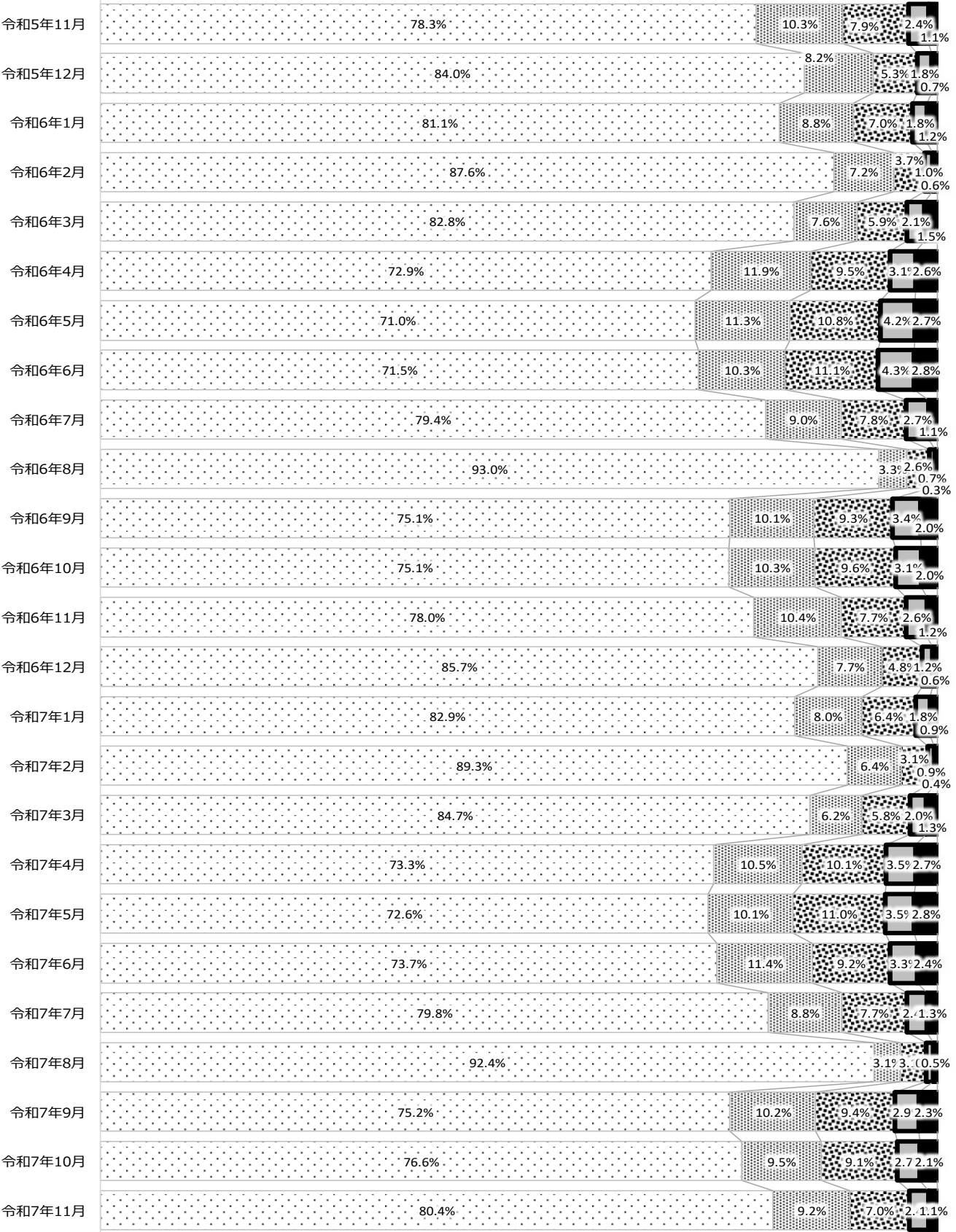


□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和5年11月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ▤ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和5年11月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

